

HILLTOP Technology Laboratory, Inc.
President 山本 勇輝

多品種単品に特化した生産システム「HILLTOP SYSTEM」を武器に、3年前に米国に進出し、「5 Days Prototype Machining」という名のもと、金属・樹脂の試作品をスピーディーに製作しお客様へお届けするサービスを現地で展開しています。

京都府にて、1961年より製造業を営んできたHILLTOPは、進出前までアメリカ市場でのビジネスの経験もなく、顧客ゼロからのスタートでした。現地顧客もなく、海外取引の経験さえもない「ものづくり企業」が、カリフォルニア州にて工場を構え、営業開始後からわずか2年で顧客数300社を獲得できたのは何故か。

まだまだ道半ばというよりも、はじまったばかりの米国市場への挑戦ですが、本日はこの3年の軌跡を皆さんにお伝えしたいと思います。

本日お話しするトピック

- 日本本社が辿ってきた道 - 職人技をデジタル化したシステム
- どうして米国に進出したのか、どうしてカリフォルニアなのか
- どのように現地調査をおこなったか、どのようなことを実行したのか
- 米国の試作市場のこと、日本企業が出来ることの可能性について